令和２年度大学院入学試験問題

（後期募集）

教育実践高度化専攻

教科教育・学級経営実践コース

注　意　事　項

1　問題用紙と解答用紙は別である。解答は，解答用紙に記入すること。なお，解答用紙のおもて面に解答を記入することとし，裏面に記入してはいけない。

2　問題は，Ⅰ（教科教育実践領域）又はⅡ（学級経営実践領域）のいずれか１つを選択して解答すること。

3　解答用紙には，受験番号と選択した問題番号を所定の欄に記入すること。

4　試験終了後は，解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

次のⅠ（教科教育実践領域）又はⅡ（学級経営実践領域）のいずれか１つを選択して解答すること。

Ⅰ　平成29年３月告示「小学校（中学校）学習指導要領」には，学習の基盤となる資質・能力として，言語能力や問題発見・解決能力とともに，情報活用能力が掲げられている。

「小学校（中学校）学習指導要領解説　総則編」（平成 29 年７月）では，「情報活用能力は，世の中の様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して，問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力」とされている。そして，「これを確実に育んでいくためには，各教科等の特質に応じて適切な学習場面で育成を図ることが重要であるとともに，そうして育まれた情報活用能力を発揮させることにより，各教科等における主体的・対話的で深い学びへとつながっていくことが一層期待される」としている。

そこで，あなたは「情報活用能力」を育成するために，教科等の学習においてどのようなことを大切に指導するか。校種・教科等を想定し，1200 字程度で具体的に述べなさい。

Ⅱ　「生徒指導提要」（文部科学省，平成22年３月）には，「教育相談は、児童生徒それぞれの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格の成長への援助を図るものであり、決して特定の教員だけが行う性質のものではなく、相談室だけで行われるものでもありません。」と示されている。さらに，「教育相談は、生徒指導の一環として位置付けられるものであり、その中心的な役割を担うものといえます。」と述べられている。

そこで，学級担任であることを想定し，校種を定め，児童生徒と教育相談を実施する上での，「利点や必要性」と「留意点」はそれぞれ何か，合計 1200 字程度で具体的に述べなさい。